

# TOMI+ 通信

## Vol.02

【シェア部が立ち上がりました】

富谷塾では毎週のように個性的な部活が立ち上がっています。先週はシェア部が立ち上がりました。コストコで大量に買った食材などをシェアしたかったという部長の傳井さんでしたが、シェアの概念を大きく広げて、子どものお下がりや、家で眠っている家具や家電、マンガ本などもシェアできればと、集まったみんなでアイデアを出し合いました。午後からはじまったミーティングでしたが、メンバーが入れ替わり立ち替わり、夕方まで楽しい話し合いは続きました。



【塾生ハンズオン】佐藤志帆さん（ゆるタイム主宰）

TOMI+に常駐しているコミュニティコンシェルジュの一番大切な仕事といっても過言ではないのが、富谷塾生に対するハンズオン支援です。ハンズオン支援とは、伴走型の活動に対するアドバイスや支援のこと。現在、小学校の教員である富谷塾生の佐藤志帆さんは「ゆるタイム」という親子で遊べる屋外や屋内の活動を主宰しています。もっといろんな方に参加してほしい、また、今後も活動が続くようにとNPO法人化することを検討中です。この日は、NPO法人にするために必要なことを洗い出し、手順を整理しました。

「ゆるタイム」Facebook ページ→



施設紹介／

## 「富谷市民俗ギャラリー」

▼学芸員の清水さん



場所：TOMI+ 3F  
観覧時間：9:30-16:30  
休館日：毎週月曜・年末年始  
観覧料：富谷市民無料

民俗ギャラリーは、土器などの富谷で出土した化石から、奥州街道の宿場町だった時代の資料や古くから使われていた農機具など、通史的に資料を扱っています。学芸員の清水さんは、歴史のことなら知らないことはないくらい詳しいので、いろいろ質問してみてください。

▼土器は触ることができます



※撮影のためにマスクを外しています。

発行／TOMI+通信編集室